

| | | | | | |
|-----|-----------------|------|-------|------|-----|
| 科目 | 観光・まちづくり実践セミナー | 担当 | 傍嶋 則之 | 履修学年 | 3年 |
| 時間数 | 90分×時限×16回(週1回) | 履修区分 | 選択必修 | 単位数 | 2単位 |

【授業目標・到達目標】

- ・実際にまちづくりに携わっている各分野の専門家を招聘し、実践的な活動やまちづくりに関する考え方、現場での取り組みや課題、その解決の仕方などの具体的な講義を受ける。筆記具は必ず準備し、講義メモを取る。
- ・授業は隔週(学事暦の偶数週)に2コマ連続(木曜日4・5限)で行う。
- ・到達目標:講義を聴き考えることにより、生活に根差す身近な地域づくりを自らの課題として捉え、地域での生き方、働き方を考えることができるようになることを目指す。

【履修注意】

- ・日頃から自らが生活する地域の行事・祭事や動向に注意を払う。
- ・何かの機会に訪れる地域やまちの様々な様子や取り組みに関心を払い問題意識を持つ。
- ・遅刻、雑談など講義中に周りに迷惑がかかる行為は厳禁。講義中にトイレへ行くことも慎む。
- ・この科目は、観光・まちづくりコースの学生にとっては必修科目である。
- ・毎回の出席が原則である。欠席回数が2回を超えるとD評価(単位不認定)になる。

【評価方法】

- ・各回のレポート・総まとめのレポートの得点、出席状況、授業態度等により総合的に評価する。

【試験について】

- ・総まとめのレポートを試験に代える。レポートの再提出(再試験)は行わない。

【予習・復習】

- ・各回のテーマは事前に公開するので、講義のより深い理解のために前もって関連情報を集めて概略を頭にインプットしておく。講義後には、インターネット等を利用して講義内容の再確認をすることが望ましい。

【教科書】

- ・購入する教科書はない。各回の講義内容に関連する資料やレジュメなどを配布する予定である。

【参考書】

「地域と大学の共創まちづくり」小林英学芸出版社

【その他の注意事項】

(注) 講師の都合により、講義の順番や内容の変更がある可能性がある。

【授業計画・内容】

| 回数 | 項目 | 内容 |
|----|---------------------------|-----------------------------|
| 1 | オリエンテーション 4/12 | 商業・環境・交通・文化などの視点からのまちづくりを紹介 |
| 2 | 東海市のまちづくり 4/26 | 東海市役所によるまちづくり総合計画と現状の紹介 |
| 3 | 東海市の市民活動とまちづくり 5/17 | 市民活動による協働事業の実態 |
| 4 | 伝統産業の保護とまちづくり 5/31 | 知多市岡田の木綿産業の保護と「岡田ゆめみたい」の活動 |
| 5 | 和食文化の発信によるまちづくり 6/14 | 知多半島伝統食文化によるフードツーリズム |
| 6 | ホテル事業によるインバウンドのまちづくり 6/28 | 東海市のシティホテルによるインバウンド事業 |
| 7 | 知多半島のまちづくり 7/12 | 観光カリスマの逆転発想による知多半島の観光事業 |
| 8 | 総まとめ 7/26 | 全体のまとめ (試験代替りのレポートを課す) |
| 9 | | |
| 10 | | |
| 11 | | |
| 12 | | |
| 13 | | |
| 14 | | |
| 15 | | |
| 16 | | |